

環境経営レポート

56期 版

(対象期間 2022年 9月 1日～2023年 8月31日)



認証番号0001604

2023年12月15日

株式会社 和田電業社

目 次

1. 緒言・環境経営方針
2. 組織の概要
3. 環境経営目標・実施体制
4. 環境経営計画
5. 環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組結果とその評価並びに
次年度の環境経営計画および環境経営目標
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、
訴訟等の有無
7. 代表者による全体の評価と見直し指示
8. その他(トピックスなど)

1. 緒言

私たちは、企業活動において限りあるエネルギーや資源を消費することにより、二酸化炭素や廃棄物を排出し、環境を汚染しております。

環境問題が私たちと子孫の生存を危うくするといっても過言でない現況において、この解決のために国際社会、国、企業、家庭及びそれを構成するひとり一人がそれぞれの立場で行動することが大切です。

この認識のもとに私たち企業の役割は、エネルギー、資源利用の効率を最大化し、企業の目的である利潤追求による社会還元し、「社会の経済的な発展＝環境保全への貢献」という「環境と経済の一致」を基本とした経営を行うことであると考えております。

この基本的な経営の考え方を礎として、当社の電気関係工事の事業を積極的に展開し、顧客と地域社会にとってなくてはならないパートナーになれるよう全社一丸となって取り組んでいきます。

具体的には、エネルギー消費量のなかで消費が突出しているガソリン・軽油の消費量を削減するために輸送の効率化をはじめ、その他、電力等の使用エネルギーの効率化、廃棄物の発生抑制・リサイクル・適正処理及び電気工事等に伴う周辺環境への配慮を重点項目として取り組みます。

この取り組みを体系化し且つ計画的に組織として取り組むために「エコアクション21」環境マネジメントシステムを構築し、環境の継続的な改善に果敢に挑戦していきます。

また、私たちは、社会の環境改善に積極的な面で貢献するために、太陽光発電工事や風力発電工事及びリサイクル事業にも取り組み、企業活動による環境負荷を超える環境改善を追求して行きたいと考えております。

このレポートをお読み頂き、当社の真の環境配慮経営をご理解頂き、ご支援とご指導を賜りますようお願い致します。

[この報告書をお読み頂いた方に]

この環境レポートは、当社所在地 山梨県大月市猿橋町伊良原133番地における事業活動を対象として、当社が「エコアクション21」環境マネジメントシステムを構築して取り組みを開始し16年目の2021年9月～2022年8月までの活動を主とした報告です。

1-1. 環境経営方針

(株)和田電業社 環境経営方針

[経営理念]

私たちはお客様にとって、なくてはならない
パートナーになれるよう努力します。

環境経営方針

当社は、下記の重点施策に基づき
環境マネジメントを実施する。

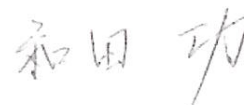
[重点施策]

1. 全ての事業活動を通じて「徹底的なムダの排除」により
資源効率の向上に努める。
2. 全従業員に環境関連法令等の遵守を徹底する。
3. 環境面からも最適な工事・サービスを提供することによ
り社会全体の環境の改善に貢献する。
4. 特に資源の再生・リサイクルを重点課題として取り組む。
5. 全ての利害関係者に積極的に環境情報を公開する。

この方針の確実な履行を通して環境の継続的改善と汚染予防を誓約する。

2006年 10月01日

代表取締役社長



株式会社 和田電業社

2. 事業の概要

(1)事業所名

株式会社 和田電業社(設立 1960年5月1日)

(2)代表者氏名

代表取締役社長 和田 功

(3)所在地

山梨県大月市猿橋町伊良原 133番地

(4)環境管理責任者氏名及び連絡先

①環境管理責任者の氏名 田村 誠

②連絡先 TEL 0554-23-1255

FAX 0554-22-4357

(当環境活動レポートに関するご意見、お問い合わせも環境管理責任者をお願い致します)

(4)事業活動内容

送電線路建設工事、変電工事、建築電気設備工事、空調工事、
太陽光発電設備工事、小水力発電工事、風力発電工事、
情報通信工事、消防施設工事、各種鉄塔建設工事、
照明設備工事、システム開発、安全用品開発

[建設業許可 山梨県知事(特一2)第3132号、山梨県知事(般一2)第3132号]

(5)事業の規模

①資本金 100百万円

②売上高 20.5億円

③従業員数 80名(2023年8月末現在)

④事業所の延床面積 1,918.46m²

(6)会計年度

第56期 (2022年9月1日～2023年8月31日)

3. 環境経営目標〔54期～57期〕

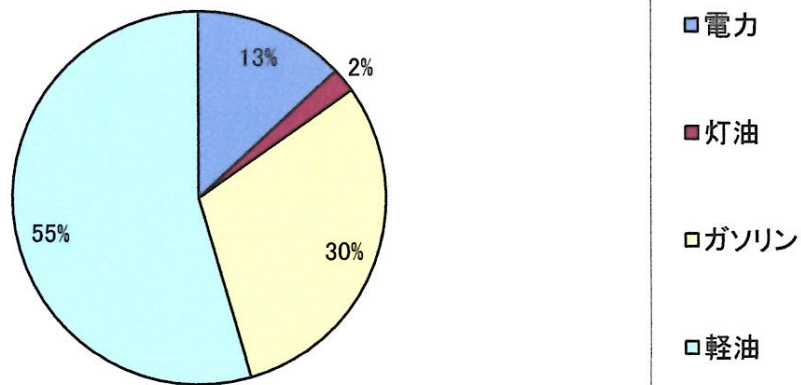
見直し年月日 2021年9月3日
 制定者 社長 和田 功

項目	取組項目	目標	実績値	目標値	目標値	目標値
			54期 (2020.9～2021.8)	55期 (2021.9～2022.8)	56期 (2022.9～2023.8)	57期 (2023.9～2024.8)
1.二酸化炭素排出量削減	(1)電力消費量削減	55期の実績値の平均値を基準値として 売上高原単位で3% (年1%)削減	69.50kwh/百万円 (3.162kg-CO ₂ /百万円)	68.81kwh/百万円 (3.130kg-CO ₂ /百万円)	68.11kwh/百万円 (3.099kg-CO ₂ /百万円)	67.42kwh/百万円 (3.067kg-CO ₂ /百万円)
	(2)灯油使用量削減		2.10L/百万円 (0.522kg-CO ₂ /百万円)	2.08kwh/百万円 (0.517kg-CO ₂ /百万円)	2.06kwh/百万円 (0.513kg-CO ₂ /百万円)	2.04kwh/百万円 (0.507kg-CO ₂ /百万円)
	(3)ガソリン消費量削減		31.70L/百万円 (7.360kg-CO ₂ /百万円)	31.38kwh/百万円 (7.286kg-CO ₂ /百万円)	31.07kwh/百万円 (7.212kg-CO ₂ /百万円)	30.75kwh/百万円 (7.139kg-CO ₂ /百万円)
	(4)軽油消費量削減		50.45L/百万円 (13.239kg-CO ₂ /百万円)	49.95kwh/百万円 (13.107kg-CO ₂ /百万円)	49.44kwh/百万円 (12.974kg-CO ₂ /百万円)	48.94kwh/百万円 (12.842kg-CO ₂ /百万円)
2. 廃棄物の排出抑制	(1)産業廃棄物削減		2.2818kg/百万円	2.1958kg/百万円	2.2362lg/百万円	202133kg/百万円
	(2)一般廃棄物の削減 (コピー用紙使用量削減)		0.0155kg/百万円	0.0153kg/百万円	0.0152kg/百万円	0.0150kg/百万円
3. 総排水量削減	(1)使用水量削減		0.0681m ³ /百万円	0.0674m ³ /百万円	0.0667m ³ /百万円	0.0661m ³ /百万円
4.環境配慮工法	(1)工事騒音・振動等の軽減	—	180件	190件	200件	210件
5.化学物質の管理	(1)特定物質の管理	塗料・希釈液の適正 管理	週末目視確認実施	週末目視確認実施	週末目視確認実施	週末目視確認実施

※二酸化炭素排出量削減の目標値の()は排出量を示し、二酸化炭素排出係数は0.474kg-CO₂/kWhとしました。

3. 環境経営目標〔56期(2022.9.1～2023.8.31)〕

項目	取組項目	目標	目標値
			(56期)
1. 二酸化炭素排出量削減	(1)電力消費量削減	55期の実績値の 平均値を基準値とし て売上高原単位で 3%(年1%)削減	68.11kw/百万円 (3.099kg-CO ₂ /百万円)
	(2)灯油使用量削減		2.06L/百万円 (0.513kg-CO ₂ /百万円)
	(3)ガソリン消費量削減		31.07L/百万円 (7.212kg-CO ₂ /百万円)
	(4)軽油消費量削減		49.44L/百万円 (12.974kg-CO ₂ /百万円)
	計	—	(23.798kg-CO ₂ /百万円)
2. 廃棄物の排出抑制	(1)産業廃棄物削減	55期の実績値の 平均値を基準値とし て売上高原単位で 3%(年1%)削減	2.2362kg/百万円
	(2)一般廃棄物の削減 (コピー用紙使用量削減)		0.0152kg/百万円
3. 総排水量削減	(1)使用水量削減		0.0667m ³ /百万円
4. 環境配慮工法	(1)工事騒音・振動等の軽減	—	200件
5. 化学物質の適正管理	(1)特定物質の目視確認	塗料・希釈液の適正管理	週末目視確認実施

排出量(kg-CO₂)

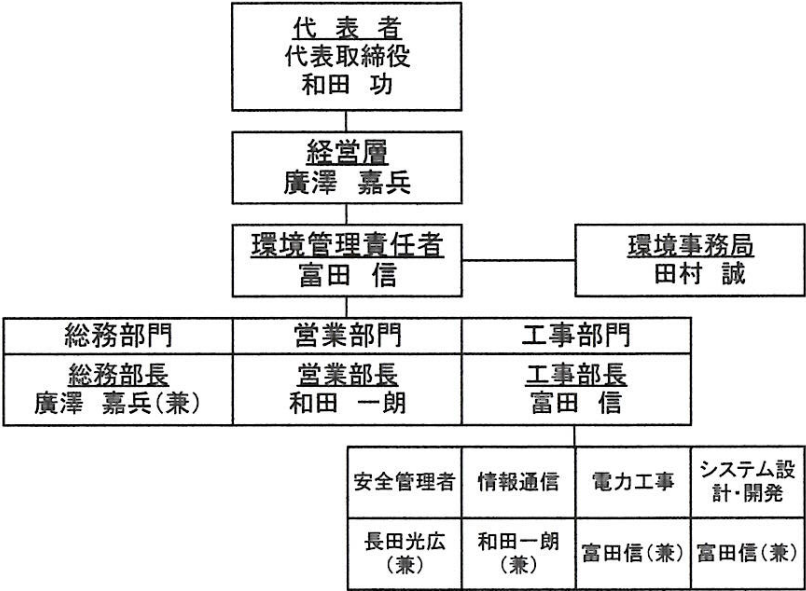
(注)このグラフから、当社としては、排出量の約78%を占める自動車用の燃料の合理化を図ることが二酸化炭素排出抑制(省エネ)のポイントとなります。

4. 実施体制表

環境活動計画を全社一丸となって効率的な取組を行い、実効をあげるために、代表取締役を代表者とする実施体制及び役割・責任・権限表を下記の通りと致しました。

図ー1. 実施体制

改定年月日 2022年4月1日
制定者 代表取締役 和田 功



表ー1. 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5.主要な環境経営計画の内容

(1)二酸化炭素排出量削減

①電力消費量

電力消費量削減については、電灯関係を中心に節電を積極的に実施しています。また、さらに継続的なきめ細かい電力消費量削減をするために、次のような活動を展開していきます。

- ・省エネ型OA機器等の導入(継続的に実施)
- ・不要箇所の消灯、不使用時のOA機器電源OFF(継続的に実施)
- ・省エネ重点設備を抽出して、各設備の電力消費改善策の検討・実行(継続的に実施)
- ・各建物について、電力消費量を前年度と比較し、節電対策の検討を実施。

②灯油消費量

冬季の暖房温度を20℃に設定し、温度管理を徹底し、灯油消費量の削減に努力します。

③ガソリン・軽油消費量削減

現場が、広範囲となることから、社員全員に朝礼等を通じて「エコドライブ」について、周知徹底を図りガソリン・軽油の消費量を削減します。

現場において、計画性をもった車両の配置を行いガソリン、軽油の消費量削減を図ります。
車両運転日誌を各車両毎、記録することにより社員全員が消費量削減意識の高揚を図ります。

(2)廃棄物対策

①産業廃棄物対策

産業廃棄物の処理は適正処理を行うと共に、マニフェスト等の管理を確実に行います。
その他、分別処理することにより産業廃棄物処理費用の削減を図っていきます。

②一般廃棄物

一般廃棄物については、適正処理を行うと共に、再資源化等を推進していきます。
ダンボールについては、分別回収をすることにより、費用の減少と、リサイクルにも協力できるもので今後とも、継続的に実施していきます。

(3)使用水量削減

毎月の水使用量を把握して、その削減対策を立て実施します。
生活用水を削減する為に、継続的に蛇口に節水表示等を行い、節水を励行させます。

(4)その他

①工事時の環境負荷低減

今年度も、同種工法による基礎補修工事を受注した際は、積極的に「小口径杭基礎」を採用し、周辺環境に配慮した工事を推進していきます。

5. 環境経営目標に対する取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境負荷の継続的な改善に組織的な取り組みを効果的に行い実効をあげるために、2006年10月に「エコアクション21」の環境管理システムを構築し、二酸化炭素排出量削減、廃棄物削減、総排水量削減に関連する9項目について目標数値を設定し、取り組みを開始致しました。

この環境目標に対する取組について56期(2022年9月～2023年8月)の結果とその評価及び次年度の取組内容について報告いたします。

1. 環境経営目標に対する取組結果とその評価

「エコアクション21」環境マネジメントシステムによる体系的な15年目の環境目標達成のための活動(56期:2022年9月～2023年8月)の取組結果を下表に示しました。

取組項目		目標値	実績値	達成率	主な活動	評価
1.二酸化炭素排出量削減	(1)電力消費量(kwh/百万円) 排出量(kg-CO2/百万円)	68.11 (3.099)	74.53 (3.581)	91.4%	不要照明の消灯等	×
	(2)灯油消費量(L/百万円) 排出量(kg-CO2/百万円)	2.06 (0.513)	1.92 (0.485)	107.2%	暖房温度設定管理	○
	(3)ガソリン消費量(L/百万円) 排出量(kg-CO2/百万円)	31.07 (7.212)	30.64 (7.204)	101.4%	エコドライブの実施 燃費、環境面を考慮して 購入車種を選定	○
	(4)軽油消費量(L/百万円) 排出量(kg-CO2/百万円)	49.44 (12.974)	36.32 (9.500)	136.1%		○
	2.廃棄物の排出抑制	(1)産業廃棄物(kg/百万円)	2.2362	1.7213	129.9%	分別標準の実施
(2)一般廃棄物(kg/百万円) (コピー用紙使用量削減)		0.0152	0.0119	127.7%	分別標準の実施 電子化等ペーパーレス化	○
3.水使用量	(1)水使用量(m3/百万円)	0.0667	0.0633	105.4%	「節水」表示	○
4.著しい環境側面	(1)環境配慮工法	220	239	108.6%	低騒音・低振動工法の実施	○
5.化学物質の適正管理	(1)特定物質の目視確認	塗料関係の目視確認	目視確認	100%	—	○

※電力の二酸化炭素排出係数は、0.474kg-CO2/kWhとしました。

2. 環境への負荷の実績(56期:2022年9月～2023年8月)

取組項目		単位	消費量	排出量
1.二酸化炭素排出量削減	(1)電力消費量	kWh	152,993.00	72,518.68
	(2)灯油消費量	L	3,944.70	9,822.30
	(3)ガソリン消費量	L	62,889.80	145,904.34
	(4)軽油消費量	L	74,562.40	192,370.99
	(5)LPG消費量	kg	1.00	3.00
	合計	kg-CO ₂		420,619.31
2.廃棄物の排出抑制	(1)産業廃棄物	kg		34,860.00
	(2)一般廃棄物	kg		240.00
3.水使用量	(1)水使用量	m ³		1,282.00

3. 次年度の取組内容

取組項目	対 応 等
1.二酸化炭素排出量削減	現在の取組をさらに全員に推進し、削減に努力していく。
2. 廃棄物の排出抑制	産業廃棄物については、ソフトバンクのコン柱局撤去を受注したことによる「コンクリートがら」が大幅に増加したため目標を達成する事が出来なかったが、引き続き分別を徹底的に実施し目標達成に努力していく。 一般廃棄物については、再資源化等の推進、分別回収、コピー用紙のペーパーレス化にも引き続き努力していく。
3. 水使用量	水使用量については、昨年と同様な方法にて削減を図っていく。
4. 環境配慮工法	工事中の騒音・振動等の軽減を図っていく。
5. 化学物質の適正管理	引き続き週末日視確認を実行していく。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお関係当局より違反等の指摘、関係者からの訴訟等ありません。

7. 代表者による全体評価と見直し結果

環境管理者からの報告により次のとおり指示しました。

- (1)エコアクション21が業界において、少しずつ認知されてきているので、もう一度基本に戻りマンネリ化せぬよう従業員全員に再徹底を図ること。
- (2)環境活動の個々の達成率は、期間売上が第一の要因であり、受注活動が厳しい中、次年度は更なる効率アップを目指して努力すること。
- (3)環境経営システムについては、環境報告書の公開もあることから、中身を充実させる。

8-1. その他

(1)トピックス-1

・送電線工事現場の仮設道路に鉄板の代替として、木製のエコウッドマットを開発した。
2024.9.3山梨日日新聞掲載写真

2024年 令和6年 9月3日 火曜日

仮設道路に木製マット



電気工事業者の和田電業社（大月市猪苗代町伊良原、和田功社長）は、工事現場の仮設道路に使う鉄板の代替として、木製のエコウッドマットを開発した。大型重機やトラックが乗り返し走行できる強度がある他、鉄板と比べて軽く運搬コストの低減が図れる。木製マットは鉄板よりも熱くなりやすく、作業員の熱中症対策にもつながる可能性があり、山梨大学理工学部の研究を進めている。（山本陽輝）

作業員の熱中症対策にも

同社によると、エコウッドマットは一枚幅4尺、奥行き0・9尺、厚さ0・12尺で、間伐材をホルトで固定するなどして製作。運搬車を組み合わせて敷くことで、自由なルートで仮設道路を設置することができ、1平方尺当たりの重さは鉄板の半分程度の200gで、運搬コストも抑えられるという。

1平方尺当たり400gの重量に耐えることができ、クレーン車やトラックなどから搬入した場と異なり、ワイヤを使用しない「ワイヤレス」を発売する。

ニューカレドニアの世界自給産産物（ニューカレドニア）から20kgの小箱（1620円）と50kg入りの袋（3780円）が販売されている。

正統社長は「白いお皿にルビーのような色のワイヤレストを添えて見た目は華やかで、販売する、同社のオンラインショップや「味の駅」ka wawachiko bas（e）富士河口湖町」などで販売する。

大月の企業開発 鉄板の代替、運搬費低減

工事現場では大型車両がめぐるのに必要不可欠な通行路であるが、鉄板を敷くことが多いが、鉄板は太陽光で高温になりやすく、作業員の熱中症対策には課題があるという。同社は山梨大学理工学部の研究を進めている。（山本陽輝）

鉄板の半分以下に抑えることができ、間伐材を使用しているため、森林整備の推進にも貢献している企業と見られる。同社は将来的に産業用として活用できる可能性があるとおり、「循環型社会の構築」にも寄与すると考えていると話している。

県産「赤」と輸入塩使用 ワインソルト 発売へ

食用花菜畑などを手がけるリコリエ（諏訪市春日園町）は、正統社長が社長を務める。月田町、南太平洋のフランスから輸入した塩と県産赤ワインを使用し、「ワイヤレス」を発売する。

採れた海産物を熟成させた（甲州市）が醸造した県産赤ワインで煮詰めて作った、口に入れたいときに赤ワインの風味と香りを加えることができる。塩味は強めで、肉料理やマカロニの刺し身などにつけて食べるのがお勧めという。

20kgの小箱（1620円）と50kg入りの袋（3780円）が販売されている。

正統社長は「白いお皿にルビーのような色のワイヤレストを添えて見た目は華やかで、販売する、同社のオンラインショップや「味の駅」ka wawachiko bas（e）富士河口湖町」などで販売する。

県産「赤」と輸入塩使用 ワインソルト 発売へ

食用花菜畑などを手がけるリコリエ（諏訪市春日園町）は、正統社長が社長を務める。月田町、南太平洋のフランスから輸入した塩と県産赤ワインを使用し、「ワイヤレス」を発売する。

採れた海産物を熟成させた（甲州市）が醸造した県産赤ワインで煮詰めて作った、口に入れたいときに赤ワインの風味と香りを加えることができる。塩味は強めで、肉料理やマカロニの刺し身などにつけて食べるのがお勧めという。

20kgの小箱（1620円）と50kg入りの袋（3780円）が販売されている。

正統社長は「白いお皿にルビーのような色のワイヤレストを添えて見た目は華やかで、販売する、同社のオンラインショップや「味の駅」ka wawachiko bas（e）富士河口湖町」などで販売する。

ドローン配送で協定

県と3社 災害、24年問題に対処

協定書に署名する長崎幸太郎知事（左）と3社の社長。甲府・消防防災新館

甲府・消防防災新館で行われた協定の締結式で、長崎幸太郎知事は「住民生活の質を

8-2. その他

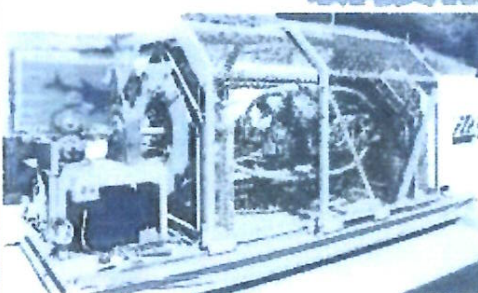
(1)トピックス-2

- ・送電線建替工事で使用する鋼線と光ユニット入りアルミ管を、自動で分別する装置の開発と実用化。

2021.10.13 山梨県建設新聞掲載写真

山梨県建設新聞 2021年10月13日 32,400円税別

和田電業社(大月市) 新技術



中央と右側開錠した位置

鋼線と光ファイバーユニット自動分別

リサイクル率90%実現

送電線用OPGW自動分別装置

山梨県を主とした送電線工事現場で、鋼線と光ファイバーユニットを自動で分別する装置を開発・実用化した。この装置は、従来の手作業による分別作業を自動化し、作業効率を大幅に向上させる。また、分別された材料を自動的に分別容器に投入するため、作業員の負担を軽減し、安全作業を実現している。

この装置は、鋼線と光ファイバーユニットを自動で分別する。鋼線は、従来の手作業による分別作業を自動化し、作業効率を大幅に向上させる。また、分別された材料を自動的に分別容器に投入するため、作業員の負担を軽減し、安全作業を実現している。

この装置は、鋼線と光ファイバーユニットを自動で分別する。鋼線は、従来の手作業による分別作業を自動化し、作業効率を大幅に向上させる。また、分別された材料を自動的に分別容器に投入するため、作業員の負担を軽減し、安全作業を実現している。

OPGW自動分別装置



8-3. その他

(1)トピックス-3

SDGsへの取組 「作る責任・使う責任」 撤去した機器類を有価物と廃棄物の完全分別。(継続中)

撤去した機器類



分別作業場



各品目毎に分類



機器類の分別



8-4. その他

(1)トピックス-3 SDGsへの取組研修会

第1回目研修会状況



研修状況



第2回目研修会状況



8-5. その他

(1)トピックス-4

SDGsへの取組(全車両へのステッカー貼り)



期間限定のイメージアップ

